

3月18日(月)

柔らかな心と強い足

今日のカ

2024年3月18日 ~ 3月24日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳者・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 申命記 31:1~6

ところが、あなたは、かたくなさと悔い改めのない心のゆえに、御怒りの日、すなわち神の正しいさばきの現れる日の御怒りを自分のために積み上げているのです。

ローマ 2:5

私の孫二人が、友だちが学校で惨事に巻き込まれたのを目撃しました。そして、そこから立ち直ろうとしていました。ある思慮深い男の人が孫たちに、自分は不運な出来事最中に、柔らかい心と強い足を持つことを学んだよ、と話してくれました。彼はこう説明しました。人々は惨事を経験すると往々にして、感情や援助を拒絶する頑^{かたく}ななを心を持ちがちで、その後、生産的に前に進むとすることを恐れる“弱い”臆病な足を持ちがちだということです。人は心を頑^{かたく}にすることがあると、多くの聖句に書かれています。(サムエルI 6:6、マタイ 19:8、マルコ 16:14参照)心を頑^{かたく}にすると、人は怒り続け、癒しを遅らせることになります。

惨事から数日経って、孫娘は皆のために何かしたいと思いました。校長先生の許可をもらって、名前は明かさず“あなたは愛されているよ♡”と書いたハート形の付箋を皆のロッカーに貼りました。生徒たちが微笑んで好意的に受け取ってくれたのを見て、彼女は気持ちが悪くなりました。彼女は、この惨事にあってクラスメートたちの心が頑^{かたく}にならずに優しくなってほしいと思いました。そして、強い足で勇気を出して前に進み、神様が彼らを用いてどんなことをしてくださるかを見てほしいと願いました。

讚美歌 II I

祈り 主よ、悲劇的で困難な時にこそ、柔らかい心と強い足を持つことを学べますように。私たちの心にある癒しのみちからによって、一生の間、あなたとともに歩み続けることができるようにして下さって、ありがとうございます。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンド・オークス
スーザン K・ギボニー

3月19日(火)

“スイート・スポット”を見つける

聖書朗読 ヨシュア記 1:1~9

キリストによって、からだ全体は、一つ一つの部分はその力量にふさわしく働く力により、また、備えられたあらゆる結び目によって、しっかりと組み合わされ、結び合わされ、成長して、愛のうちに建てられるのです。 エペソ 4:16

私が高校でテニスをしていた頃、新しい大型ラケットが出回りました。それさえあれば、すぐに試合で勝てそうでした。どういうことかと言うと、大型ラケットは通常のラケットより“スイート・スポット”、つまりラケットのその場所に当たると、球を遠くへ飛ばす力が強くなる真っ芯が大きいのです。

まるで“スイート・スポット”で生きているという経験をしたことがありますか。つまり、あなたが最高の状態にあると感じられる場所で、あなたに与えられた神様の賜物が結び合わされて、喜びのうちに実を結ぶような場所で、自分は生きていると感じたことはありますか。それとも、自分は古いラケットを使って、まずい試合運びにしかめっ面をしているなど感じていますか。

神様が、奉仕や励ましや教えて新しいリスクを負うようにと、あなたを召しておられると思うなら、そのことを真剣に考えてください。神様が、あなたの賜物をもっと自由に使える、あなたが思いもよらない方法で御国を発展させることができる機会を、あなたに与えてくださっているのかもしれませんが。今日、雄々しくあって、神様の与えてくださる機会を聞き逃さないようにしましょう。主にお従いすることはチャレンジかもしれませんが、きっとやりがいがあります。

讚美歌 379

祈り 私たちの心と意思を知っておられるお父様、知恵を与えて、あなたが私たちをお導きくださる方法が分かるようにしてください。あなたが与えてくださった賜物すべてを用いる勇気をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 オーク・パーク
アンディ・ウォール

3月20日(水)

賜物はどこから

聖書朗読 士師記 15:1~11

…あなたのうちにある聖霊の賜物を軽んじてはいけません。 テモテ I 4:14

子どもの頃、よく言われたのですが、自分の能力や才能を知るのは重要だけれども、そういう能力や才能を誰から頂いたのかを知るの方がはるかに大事です。今では、賜物を知っていても、賜物を与えてくださったお方に感謝して繋がってなければ何の意味もないということが分かりました。

サムソンは生まれつき、イスラエルをペリシテ人の手から救うという、神様から与えられた仕事を遂行するために、超人的な力という賜物を授かっていました。素手で獅子を引き裂いたり、しっかり縛られていた新しい綱をぼろぼろに断ち切ったり、ろばのあご骨でペリシテ人千人を打ち殺したり、町の門のとびらと二本の門柱をつかんで、かんぬきごと引き抜き、肩にかついで山の頂へ運んで行ったりするのは、並大抵のわざではありません。サムソンはその力を復讐という抑えがたい激情を満たすために使いました。ユダの人々三千人が来て、どうして支配者であるペリシテ人に逆らって、私たちが危険にさらすようなことをしてくれたのかと尋ねた時、『サムソンは彼らに…「彼らが私にしたとおり、私は彼らにしたのだ。」』(士師 15:11)と言いました。どうやらサムソンは自分の復讐のこじか頭になく、神様のご栄光のために賜物を用いることなど考えていなかったようです。

あなたは、ご栄光のために使うようにと、神様があなたに賜物を与えてくださっていることに気付いていますか。あなたの才能は、あなた自身の力で大きくなったり磨かれたりしていると思ひ込んでいますか。もしそうなら、考え違いです。あなたの能力や才能はすべて、神様からの賜物で、神様のために用いるべきものです。

讚美歌 II 188

祈り 主よ、自分の賜物を認め、あなたのために用いる機会を感謝できますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ニューメキシコ州 グランツ
ランディ・ロバーツ

3月21日(木)

旅は道連れ

聖書朗読 ルツ記 1:8~22

…あなたの行かれる所へ私も行き、あなたの住まれる所に私も住みます。

ルツ 1:16

一人で長旅に出なければならなくなったことはありますか。一人で過ごす時間にワクワクする人もいるかもしれませんが、たいていの方は旅行仲間と一緒に話をしたり、笑ったり、思い出を語り合ったりできたらいいなと思うものです。一緒に行ってくれる人がいる方が、長旅が短く感じられるものです。あるいは、イヤな仕事が先に待っているとします。何か辛い経験をしなければならないことか、対処しなければならないことがありました。それは一人では耐え切れないと思えるほど圧倒的なことでした。

今日の朗読箇所、ナオミはその両方に直面しました。彼女は夫と二人の息子に先立たれ、今まで住んでいた所を出て、故郷のユダの地へ戻る長い旅路につきましました。でも、ありがたいことに、彼女は一人旅をしなくても良くなりました。嫁のルツがいっしょに帰ると言うのです。そして、二人は連れ立って旅をして、無事に故郷ベツレヘムに着きました。

聖なる交わりの最終的な根拠は神にある。私たちは神によって互いに関わり、すべての山が同じ大地に下っていくように、神を通して互いに近づくのだ。

— トーマス R・ケリー*

(*訳注:アメリカのクエーカー教徒、教育者。1893-1941)

讃美歌 180

祈り 主よ、生涯を通じて共に旅して下さる聖霊の賜物を感謝します。あなたのご臨在によって私たちが祝福して下さるよう、私たちが私たちの生き方によって他の人たちが祝福することができますように。イエス様によって、アーメン。

テキサス州 スタンフォード
ウェス・ホーン

3月22日(金)

見かけと違う

聖書朗読 サムエル記 第一 16:1~13

しかし主はサムエルに仰せられた。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」

サムエル I 16:7

テリーサという素晴らしい友だちがいます。病気がちなのですが、神様が彼女にしなさいとおっしゃる仕事はまだあると堅く信じています。

今日、テリーサを見ても、彼女の生い立ちを到底、推測できないでしょう。まだ14歳だった時、勇気を奮って決断し、二人の弟を連れて、アルコール依存症の母親がいた家を出ました。働いて、学校にも休まず通い、弟たちを養育する責任を負いました。高校卒業後、結婚して、4人の神様に忠実な息子たちを育て上げました。彼女は人生行路に導かれ、寮母や高齢者の介護者、里親という役目を務めてきました。

今日、テリーサに会っても、彼女の信じられないような話をにわかには理解できないかもしれません。ヤコブ1:27の奨励に従い、彼女が孤児ややもめたちのお世話をすることに献身しているなんて思いもよらないでしょう。テリーサをうわべだけで判断したら、彼女の驚くばかりの心を見落とされています。

うわべと真価を同一視するという過ちを犯さないようにしましょう。今日、人や状況を評価する時、ちょっと立ち止まって、うわべだけではない判断をしましょう。あなたが会う人たちのうちにも、神様は働いておられるのを忘れないでください。

讃美歌 521

祈り 主よ、あなたをご覧になるように、人々を見ることができるよう助けてください。あなたがすべての人を創造されたことを理解できますように。会う人ひとりひとりを、あなたの子供として尊重することができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック
ベス・ロビンソン

3月23日(土)

王様の鎧よろいか羊飼いの石投げか

聖書朗読 サムエル記 第一 17:38~47

私たちのたましいは主を待ち望む。主は、われらの助け、われらの盾。
まことに私たちの心は主を喜ぶ。私たちは、聖なる御名に信頼している。

詩篇 33:20~21

サウル王が見ると、ゴリヤテの青銅のよろいかぶとが陽の光を受けて輝いていました。王が振り向くと、羊飼いの若者が石投げを持って立っていました。「そんな物である巨人と戦うことはできない。ほら、私のよろいかぶとを着なさい。国で一番良い豪華なものだ。これさえ着けていれば安全間違いなしだ。」ダビデは何とかして王のよろいかぶとを着てみました。ためしに歩いてみましたが、うまく動けませんでした。王のよろいかぶとはサウル王は守ってくれたかもしれませんが、ダビデにとっては命取りになったかもしれません。ダビデは自分らしく、王様御用達の武器ではなく、羊飼いの道具を使って、ゴリヤテを打ち負かしました。

でも、よく考えてみると、巨人を打ち負かしたのは石投げではなく、神様に対するダビデの信仰でした。もっと言えば、ダビデの信仰の力が勝利の鍵ではありませんでした。勝利の鍵は、ダビデが信じる神様のみちからにありました。『私は、おまえがなぶったイスラエルの戦陣の神、万軍の主の御名によって、おまえに立ち向かうのだ。』(サムエル I 17:45)

ダビデのように私たちも、神様のみ恵みよって与えられているすべての武具を取り、御霊の剣、すなわち神のみことばという武器をもって、主にお仕えしましょう。私たちは神の武具を身に着けて、とくに『主にあって、その大能の力によって強められ』(エペソ6:10)、神様にお仕えします。

讃美歌 445

祈り 主よ、私たち一人一人に、サイズもスタイルもぴったりの武具をお与えくださって、ありがとうございます。あなたの大能の力によって、御国のための仕事に就くことができます。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 ウッドランド
エルマー・プラウト

3月24日(日)

私は愚か者じゃない!

聖書朗読 列王記 第一 3:1~15

主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。箴言 1:7

この世で手に入れられたらよいと思うものは何ですか。富、権力、美、長寿、健康、幸福な結婚ですか。他にも多くの物のリストが続いて、私たちは日々それらを求めて祈ります。

三千年前、神様が一人の王の願いを叶えました。王は他のどんなものでも願うことができたのに、およそ私たちには思いもよらないようなもの、知恵を与えてくださいと願いました。ソロモン王には、イスラエルを治めるという途方もない仕事のためには、神様の知恵が必要だと分かっていたのです。彼の利己的でない願いは、神様の御心にかない受け入れられました。

私たちは幸運にも、今日、ソロモンが著あらわした箴言、伝道者の書、雅歌に、彼の知恵と判断力の例証を見ることができます。

神様の目から見て知恵のある者とはどういう人でしょうか。個人の成績ではありません。神様の目に知恵のある者とは、主を恐れ、主の戒めを守る人です。それに対して、神様のご臨在を否定し、ご命令に従わない者を、神様は愚か者とみなされます。知恵を、真の知恵を熱心に祈り求めましょう。

讃美歌 275

祈り 天のお父様、聖書を学ぶ時、ともにいて、書かれていることを理解できるように助けてください。聖句から学んだことを実行しようとする時、御力によって賢明な決断をすることができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ヒューストン
ジェイン・ポー・マッシー